

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

よろこびの食文化の創造。お客様の感動が私たちの喜びとし、日本一質の高い外食企業を目指す

店舗数

190店舗

② 中長期の経営戦略

1. 中核部門の拡大

木曽路部門を中心に各部門の拡大。市場変化や顧客ニーズに適合したビジネスモデル構築

2. 地域別バランス

東海地区の基盤を活かし中部・関東・関西に出店。中部55店舗、関東102店舗、関西30店舗

3. 焼肉部門の拡大

木曽路部門に次ぐ第2の柱として焼肉部門の業容を拡大。現在47店舗から成長

③ 対処すべき課題

① 社会的責任の自覚

- ・コンプライアンス徹底・食の安全安心追求を優先
- ・手洗いなど衛生管理水準向上
- ・SDGs・環境配慮の観点から企業責任を実行

② 経営基盤の強化

- ・組織体制明確化・権限責任分担で組織力向上
- ・教育システム再構築（OJT強化）で人材育成
- ・労働環境改善で定着・登用・適所配置推進

③ 営業・収益基盤強化

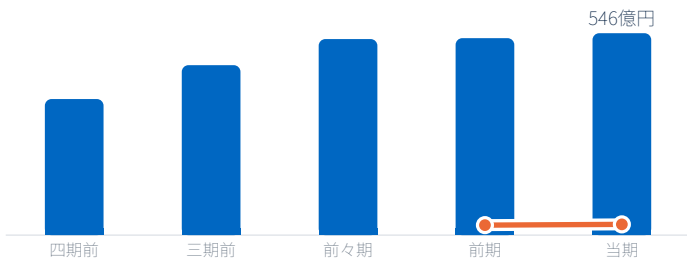
- ・顧客の声把握分析。QSC向上とオペレーション改善
- ・接客・調理・店舗運営の基本技術徹底
- ・ワークスケジュール精度向上で生産性向上

面接で使えるポイント

- ・経営理念『よろこびの食文化の創造』を実現するため、食材の上質性と落ち着ける店舗環境を重視
- ・木曽路部門126店舗を中核に、焼肉部門47店舗など複数業態で顧客の多様なニーズに対応
- ・円安や原料価格高騰などの厳しい環境で、QSC向上とコンプライアンス徹底で競争力を維持

証券コード 8160

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
飲食業を主要事業とする上場企業

主力事業・セグメント

- ・小売業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・将来性評価は晴れ時々曇り
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
546億円営業利益率
5.3%財務健康度
53点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 45.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
557万円

小売業内 141位/318社

平均年齢
44.8歳

小売業内 96位/318社

平均勤続
12.5年

小売業内 125位/318社

女性管理職
20.7%

小売業内 76位/250社

男性育休
47.4%

小売業内 144位/193社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 木曽路と加賀屋が連携。能登の食材や食器を活用し、復興と食文化

